

品番

DP-34498E・DP-34500E・DP-36596E

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

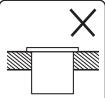
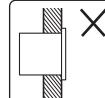
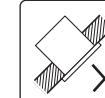
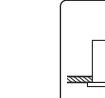
お客様へ

- ご使用の前に安全上のご注意と取扱説明をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店・工事店にご依頼ください。
- 施工前に安全上のご注意と施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 本説明書は大切に保管してください。

安全上のご注意

⚠ 警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負うことが想定されます。

 厳守	この器具は天井埋込専用人感センサースイッチです。指定場所以外には取付けないでください。火災・落下の原因となります。			
	 床面	 壁面	 傾斜天井	 補強のないロックワール等のやわらかい天井
	マット敷工法〔住宅用人造鉱物纖維断熱材(JISA9521)〕・ブローイング工法〔吹込み纖維質断熱材(JISA9523)〕で断熱施工された天井に使用できます。特殊な断熱・遮音・防音施工された天井には使用しないでください。過熱して火災の原因となります。			
	 厳守 器具本体表示または本説明書に従って施工してください。施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。			
 禁止	周囲温度5~35°C以外では使用しないでください。火災の原因となります。			
 禁止	器具の直下や近くでは、火気等を使用しないでください。火災・感電・落下の原因となります。			
 禁止	  ストーブ			
 厳守	煙・臭い等の異常を感じたら、すぐに電源を切つてください。火災・感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店、または当社「CSセンター」にご相談ください。			

⚠ 注意

取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか物的損害の発生が想定されます。

 厳守	電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。			
 注意	<ul style="list-style-type: none"> ●照明器具には寿命があります。 ●設置して8~10年経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。 ※使用条件は周囲温度30°C、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。 ●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。 ●3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。 ●点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。 			

施工説明

工事店様へ

- 施工前に施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 本説明書は必ずお客様にお渡しください。

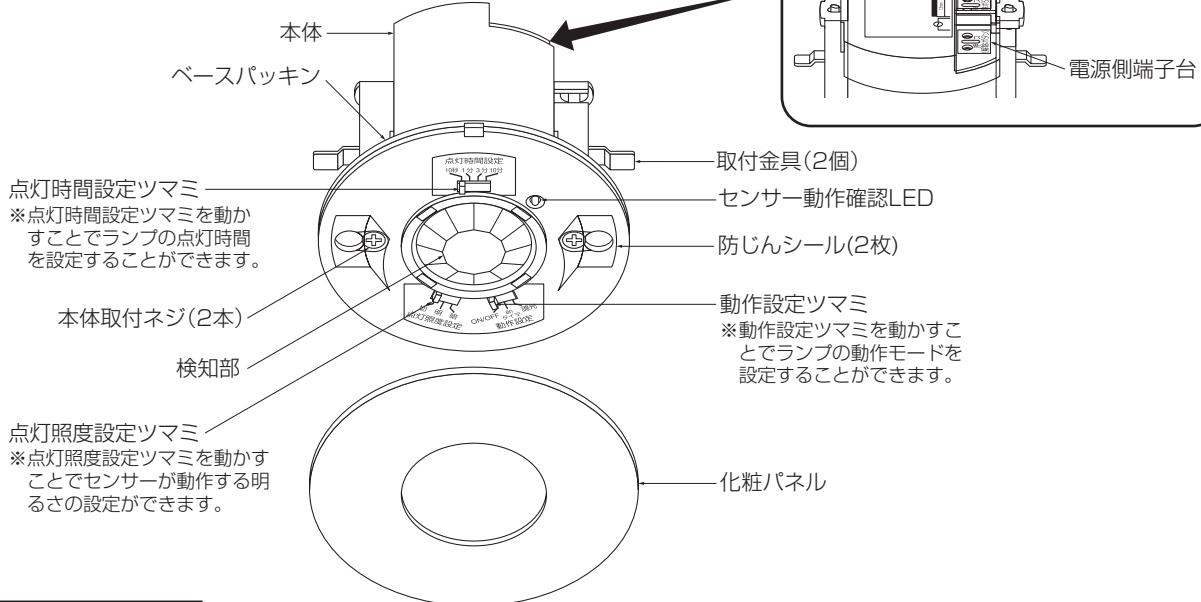
仕様

- 屋内天井埋込専用人感センサースイッチです。
- 高気密形です。
- マット敷工法〔住宅用人造鉱物纖維断熱材(JISA9521)〕・ブローイング工法〔吹込み纖維質断熱材(JISA9523)〕で断熱施工された天井に使用できます。
- 取付金具(2個)取付専用器具です。
- 当社指定の器具と正しく組合せてご使用ください。

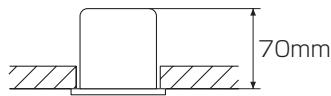
品番	DP-34498E・DP-34500E・DP-36596E
定格電圧	交流 100V
適合負荷 (別売)	当社調光可能器具 1台~120VAまで 白熱灯(ハロゲン含む) 20W~120Wまで
点灯照度	暗・明・切 (15lx)(45lx)(10000lx)
点灯時間	10秒・1分・3分・10分
動作	調光モード・8時間タイマーモード・ON/OFFモード
強制オン時間	1時間
ソフトスタート時間	約5秒
フェードアウト時間	約5秒
検知距離	天井高さ約7mまで
器具重量	約0.2kg
電源接続	端子台

各部の名称

※下図は、簡略した図です。



埋込必要高



付属部品



△警告

この器具は防水ではありません。湿気の多い場所や屋外で使用しないでください。
水ぬれ 火災・感電の原因となります。
禁止

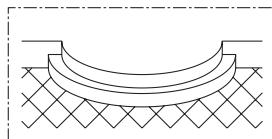
指定以外の照明器具には使用しないでください。また、電動機器、空調機器などの制御には使用しないでください。誤動作によるけがや事故の原因となります。

蛍光灯、HID器具、トランス内蔵器具、別置トランスを必要とする器具、リモコン内蔵器具及び調光器への接続は出来ません。

① 取付け前の注意事項について

- 日光、ヘッドライトなどの強い光があたる場所は避けてください。
- 風の強く当たる場所(エアコンの吹き出し口付近)への設置は避けてください。
- ガスコンロなどの熱気をあびる場所、風呂場などの高湿度となる場所は避けてください。
- 配線の際は、必ず電源を切ってから行ってください。
- 電源側と負荷側の結線は絶対に短絡させないでください。
- 高温や振動の激しい所、一般通常環境以外の所には取付けないでください。
- 器具重量に対する取付箇所の強度が十分かどうか確認してください。
- 負荷側は適合負荷を守ってご使用ください。
- 照明器具から1m以上離れた場所に取付けてください。(検知エリアに照明器具の光が入らないようにしてください。)
- ダウンライトのそばに取付ける場合は100mm以上離れた場所に取付けてください。
※但し、天井面よりランプが下に飛び出しているダウンライトは1m以上離してください。
(検知エリアに照明器具の光が入らないようにしてください。)

- ロックワール等のやわらかい天井及び珪酸カルシウム板の天井に取付ける場合は、必ず器具の取付金具又は取付バネと天井の間に補強材(鉄板、木片等)をいれてください。
- 取付面が充分乾燥してから器具を取付けてください。取付面の乾燥が不充分だと器具のメッキ部や塗装部が侵されたり、絶縁不良の原因となります。
- 表面に1mm以上の凹凸のある天井はザグリをし、平らにしてください。凹凸のある天井にそのまま取付けると、光モレ・気密性の低下の原因となります。



△警告

壁スイッチは必ず設けてください。動作点検確認の為、必要です。
厳守

② 天井面を確認する

- 天井の埋込穴が $\phi 75 \pm 2\text{mm}$ か確認してください。
- 天井の器具取付面の厚さが1~35mmか確認してください。

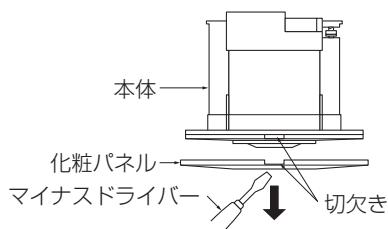
埋込穴
 $\phi 75$

指定の取付可能天井厚・埋込穴寸法以外の天井には使用しないでください。
落下的原因となります。

施工説明

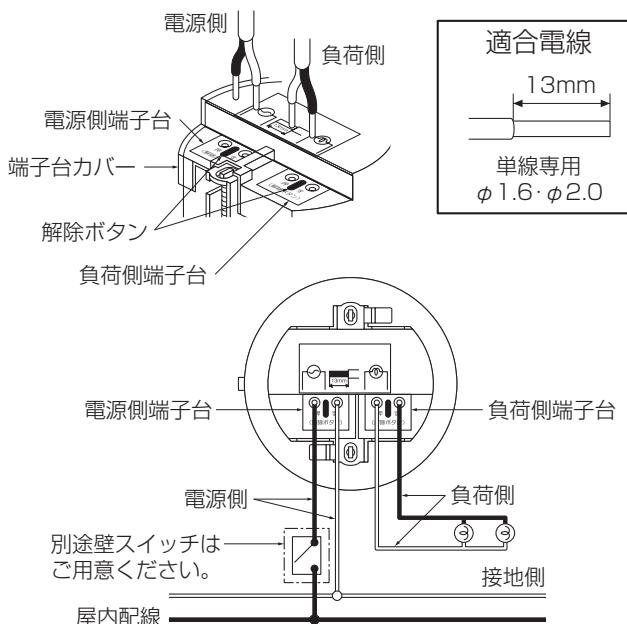
③ 化粧パネルを取外す

- 化粧パネルの切欠きにマイナスドライバーを差し込み、本体から化粧パネルを取外してください。



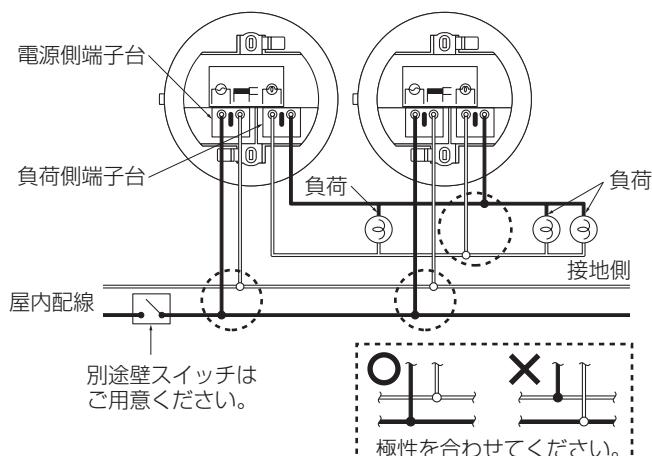
④ 電源を接続する

- 必ず電源を切ってから作業してください。
- 適合電線を使用しストリップゲージにあわせて段むきしてください。
- 本体に端子台カバーが取付いていることを確認してください。
- 端子台に奥まで確実に差し込んでください。



＜同一回路に複数台接続する場合＞

- 最大5台まで接続できます。但し、接続台数にかかわらず負荷は1台分の容量です。



△ 警告

適合電線を使用し、確実に接続してください。接続が不完全な場合、火災の原因となります。

定格以外の電圧では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

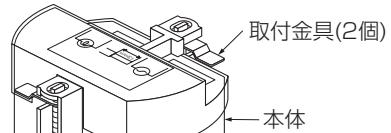
負荷側端子台に電源線を差し込まないでください。故障の原因となります。

＜電源線を取外す場合＞

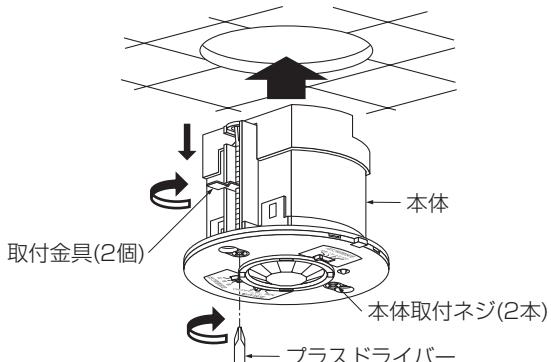
- 必ず電源を切ってから作業してください。
- マイナスドライバー等で解除ボタンを押しながら、電源線を引き抜いてください。

⑤ 本体を取付ける

- 取付金具(2個)が右図のよう
に本体内に収まっているか
確認してください。



- 天井面の埋込穴に本体を押し込んでください。
その後、プラスドライバーで本体取付ネジ(2本)を確実に締め付け
固定してください。(本体取付ネジを締め込むことで、取付金具が開
きながら下がり本体が固定できます。)

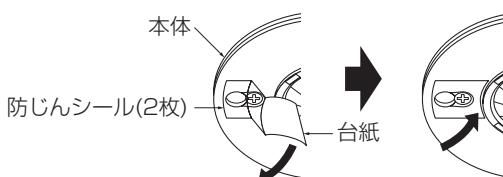


△ 警告

取付けが不完全な場合、落下の原因となります。

⑥ 防じんシールを貼付ける

- 防じんシール(2枚)の台紙をはがし、本体に貼付けてください。

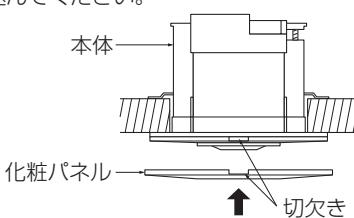


⑦ 使用条件を設定する

- 別紙人感センサーの取扱説明書をご覧の上、使用条件(点灯時間、
点灯照度、動作切替)の設定を行ってください。

⑧ 化粧パネルを取付ける

- 化粧パネルと本体の切欠き位置に合わせて化粧パネルを本体に確
実にめ込んでください。



△ 警告

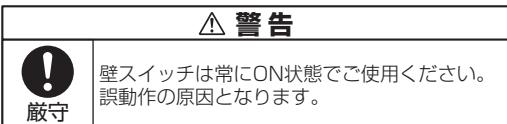
取付けが不完全な場合、落下の原因となります。

施工説明

9) 使用前に確認する

- 取付状態・点灯状態を確認してください。
(動作確認方法)

- ① ブレーカー、室内スイッチをONにしてください。



- ② 1) 電源投入直後(停電復帰直後)から、約30秒間、周囲の明るさ(照度)に関係なく強制点灯となります。
※センサーが安定するまでの時間で故障ではありません。
- 2) その後、約30秒間、テストモードに入ります。周囲の明るさに関係なく人体を検知すると約10秒間照明が点灯するので検知エリアを確認してください。
- 3) テストモード終了後、自動的に設定モードに入ります。
※出荷時のスイッチ設定は動作設定ツマミが「ON/OFF」、点灯照度設定ツマミが「切」、点灯時間設定ツマミが「10秒」となっています。

(動作設定ツマミ、点灯照度設定ツマミ、点灯時間設定ツマミについては「各部の名称」並びに別紙「人感センサーの取扱説明書」を参照してください。)

取扱説明 お客様へ

- ご使用の前に安全上のご注意と取扱説明をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

ご使用方法

通常は室内スイッチをONにした状態でご使用ください。

室内スイッチが「ON」の時	1. 周囲が暗くなると8hタイマーモードの時は、8時間の弱点灯状態の後、消灯状態になります。 調光モードの時は、弱点灯状態になります。ON/OFFモードの時は、消灯状態のままです。 2. 人を検知すると点灯状態になります。 3. 検定時間(10秒・1分・3分・10分)点灯した後、8hタイマーモード・ON/OFFモードは消灯状態となり、調光モードは弱点灯状態に戻ります。 4. 周囲が明るくなると消灯します。(人を検知しても照明は点灯しません。)
室内スイッチが「OFF」の時	1. 周囲が暗くなつても、人が近づいても、全く反応せず、消灯したままです。

- 強制点灯をさせたい場合は、強制オン機能をご使用ください。(別紙「人感センサーの取扱説明書」を参照してください。)

- 検知範囲は別紙「人感センサーの取扱説明書」を参照してください。

※人感センサーのご使用方法については、別紙「人感センサーの取扱説明書」を参照してください。

ご使用上のご注意

- 室内スイッチ・ブレーカーを操作した後、約30秒間は動作が安定しません。(センサーが安定するまでの時間で故障ではありません。)
- ランプ交換、または掃除をする時は、室内スイッチまたはブレーカーを切って、電源が切れたことを確認してから行ってください。
- 検知範囲に犬や猫が入った場合、動作することがあります。(体温を感じて反応するもので、故障ではありません。)
- 季節などの温度変化により、検知範囲が多少変化することがあります。(センサーの検知方式によるもので、故障ではありません。)
- 人体検知レンズが汚れたり、ほこりがたまつたりすると動作しにくくなります。柔らかい乾いた布などで定期的に掃除してください。(シンナー、ベンジン等の薬品は絶対に使用しないでください。)
- 器具に殺虫剤等をかけないでください。カバー、グローブ等の落下・変質・変色の原因となります。
- ランプ交換の際、取扱いは交換ランプのケース表示に従い正しく行ってください。

- 故障と思われた時は、次の点をお調べください。

症状	点検箇所	次の点をお調べください。
自動点滅しない	室内スイッチ	●ONになっていますか？
	電源	●ブレーカーが落ちていませんか？
	照明器具	●ランプが切れていませんか？ ●適合ランプを使用していますか？
	人体検知レンズ	●汚れたり、ほこりがたまつていませんか？

- センサーの動作がおかしい時は、別紙「人感センサーの取扱説明書」、7ページの「修理を依頼される前に」を一度確認してください。

保証について

1. 保証について
この商品の保証期間は1年です(安定器は3年)。但し、ランプ等の消耗品は除きます。
詳細は弊社カタログをご参照ください。
※保証期間の例外
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

2. 保証書について
保証書が必要な場合は、下記「CSセンター」までお申し出ください。
3. 補修用性能部品の保有期間
弊社は照明器具の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。
補修用性能部品(同等の機能を有する代替品含む)とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

点検とお手入れ方法

1. 明るく安全に使用するために6ヵ月に1回程度、点検および清掃を行うことをおすすめします。

(1)点検項目

- ・ランプが切れていませんか。
- ・正常に点灯しますか。
- ・スイッチは正常に切り替りますか。
- ・天井との取付部、各部品の合わせ目に異常なガタツキ、ゆるみはありませんか。
- ・可動部は異常に動作しますか。
- ・異常な臭い、音、発熱はありませんか。
- ・ガラス、プラスチック部品等に、ひび、割れ、変形等が発生していませんか。

(2)清掃

器具やランプにホコリがつくと、明るさを損なうばかりか、器具自体の寿命を短くします。

清掃箇所	清掃方法
金属メッキ処理 金属塗装処理	傷つきやすい部分ですから、柔らかい布で1~2回軽く拭いてください。
アクリル プラスチック	薄めた中性洗剤を使用し、洗剤が残らないようによく水洗いしてそのまま乾かしてください。乾いた布で拭くと静電気が生じ、ホコリがつきやすくなります。(但し、金属部は除く)
木・竹・籐 布・和紙	こまめにハタキや柔らかいハケ、ブラシでホコリを落とし、目の細かい柔らかな布で軽く拭いてください。
ガラス	中性洗剤またはスプレー式ガラスクリーナーを使用したのち水洗いし、自然乾燥してください。消しグローブは素手でさわると指紋がつきます。ゴム手袋等を使用してください。

※ガソリン、シンナー、みがき粉、サンドペーパー、たわし等は使用しないでください。

2. 異常時の処置

異常を感じた場合は、速やかに電源を切って、販売店、工事店、または当社「CSセンター」までお申し出ください。(部品等の取り替えは勝手にしないでください。)

商品についてのご相談

照明器具の機能・性能等のお問合せは、下記までお電話ください。

CSセンター (0570)003-937(ナビダイヤル 全国共通)

受付時間(月～金曜)9:00～17:00 土・日・祝祭日、夏季、年末年始休業日は受付しておりません。

お客様へ

- ご使用の前に説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 照明器具の取付工事は必ず工事店・電器店(有資格者)に依頼してください。

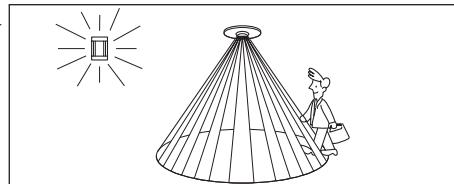
工事店様へ

- 施工の前にこの説明書をよく読み、お客様と打合せのうえ、お客様のご使用に合わせたセンサーの設定にしてください。
- この説明書は必ずお客様にお渡しください。

人感センサー付照明器具の特徴

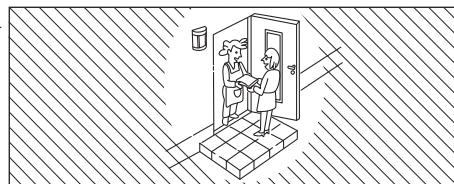
センサー機能

センサーが人を感知すると、ランプが100%点灯します。
人がいなくなると設定された点灯時間(10秒、1分、3分、10分)経過後、
消灯します。点灯保持時間が選べます。



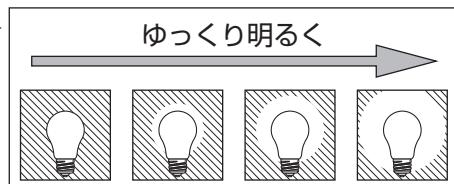
強制ON(連続点灯)

連続して点灯させたい時は壁スイッチを「OFF」にして3秒以内に「ON」
にすると、強制的にランプを100%点灯できます。
解除するときは一旦壁スイッチを「OFF」にし、5秒以上経過後、再び
「ON」にするとセンサー動作に戻ります。



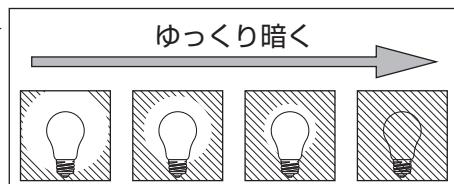
ソフトスタート

センサーが人を感知すると、ランプはゆっくり明るくなり、約5秒で
100%点灯します。
目が光に馴れるに合わせて徐々に明るくなるので、夜中でもまぶしさに
目がくらむことはありません。

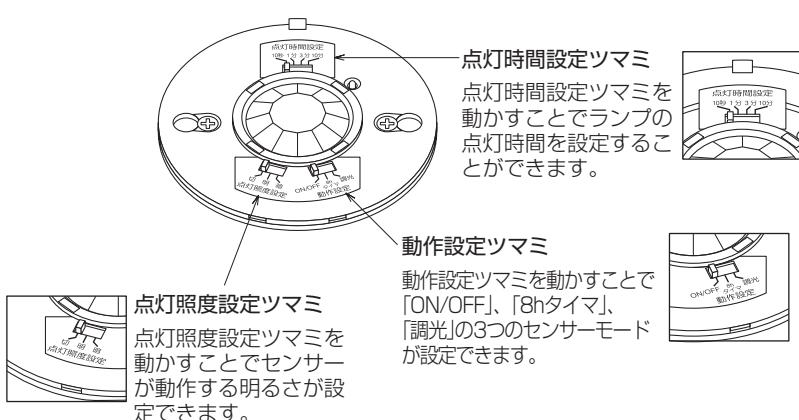


フェードアウト

設定された点灯時間(10秒、1分、3分、10分)経過後、すぐにランプは
消えません。
約5秒かけてゆっくり暗くなり、消灯間近なことを知らせてくれます。
(少し動けばまた点灯します。)



センサー各部の名称



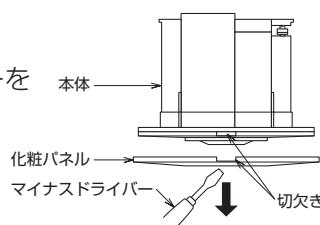
注) エリアマスクを取付けることで、感知範囲をせまくできます。
必ず感知範囲を確認してください。
(P.2を参照してください。)

エリアマスク 貼り付け位置

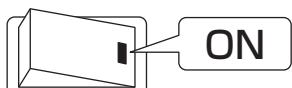
初めて使う時(感知範囲を確認する)

1. 化粧パネルを取り外す。

化粧パネルの切欠きにマイナスドライバーを差し込み、本体から取り外してください。



2. 壁スイッチを「ON」にする。

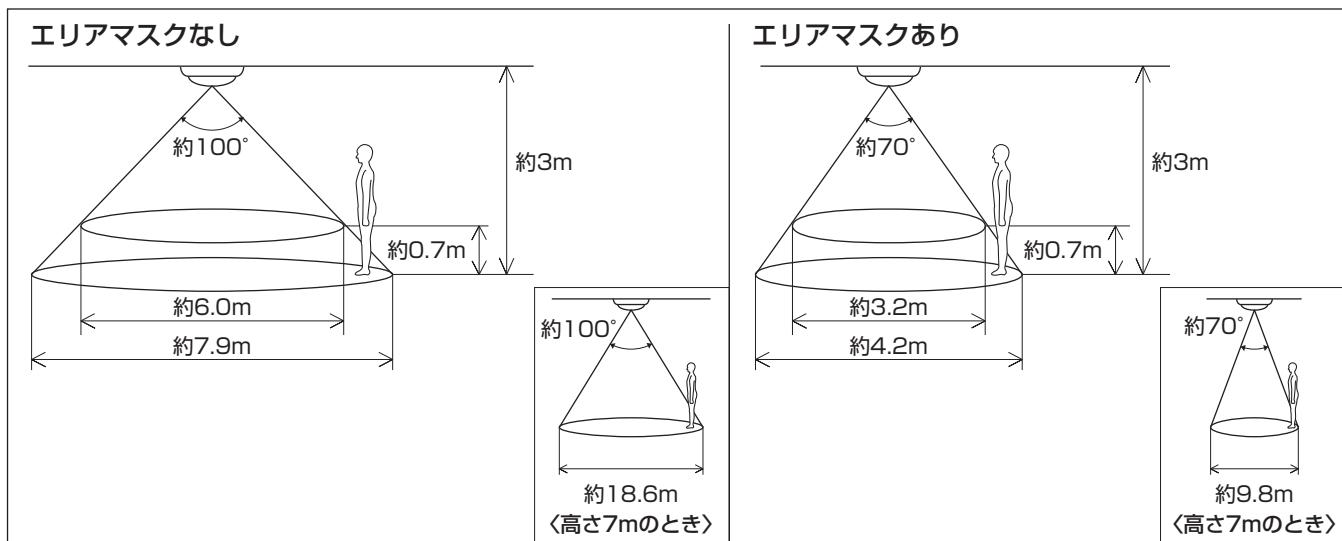


注) 壁スイッチを「ON」にした直後は、ランプが約30秒間100%で点灯(強制点灯)しますが、異常ではありません。

3. 感知範囲を決める。

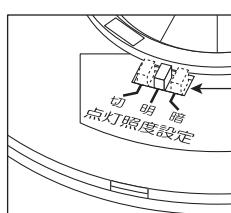
強制点灯(約30秒)後、周囲の明るさに関係なく、人体を感知すると約10秒間ランプが点灯するので感知範囲を確認してください。また、感知範囲が広い場合は、センサーの感知部に「エリアマスク」を取り付けて感知範囲をせまくできます。

〈センサーの感知範囲〉



4. センサーが動作する明るさを決める。

点灯照度設定のツマミを「切」、「明」、「暗」に合わせる。



「切」、「明」、「暗」に合わせる。

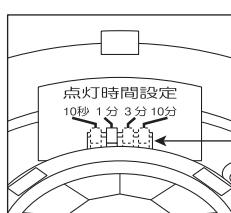
明るさに関係なく点灯させたい。(約10000ルクス以下)
→「切」に合わせてください。

夕方のやや明るい時から点灯させたい。
また、明け方に消灯させたい。(約45ルクス以下)
→「明」に合わせてください。

夜暗くなりかけてから点灯させたい。
また、明け方早くに消灯させたい。(約15ルクス以下)
→「暗」に合わせてください。

5. ランプが点灯する時間を決める。

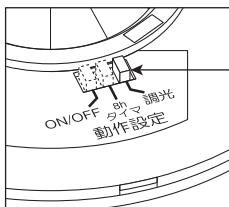
点灯時間設定ツマミをお好みの時間に合わせてください。



「10秒」、「1分」、「3分」、「10分」の4段階から選べます。

6. センサーの動作を決める。

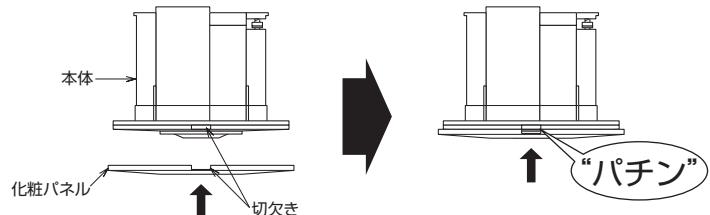
こんな使い方ができます を参考に、お好みのモードに合わせてください。



「ON/OFF」、「8hタイマ」、「調光」に合わせる。

7. 化粧パネルを取り付ける。

化粧パネルと本体の切欠き位置を合わせて、
“パチン”と音がするまで化粧パネルを押し
上げて本体にはめ込んでください。



こんな使い方ができます

壁スイッチをONの状態でご使用ください。

「動作設定」のツマミを動かすことで「調光モード」、「8hタイマーモード」、「ON/OFFモード」で使うことができます。
又、壁スイッチの操作で「強制ONモード」もできます。

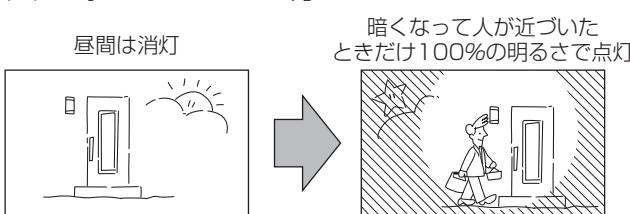
ほのかな明かり+人が来たときは明るくしたい → (調光モードの設定)へ



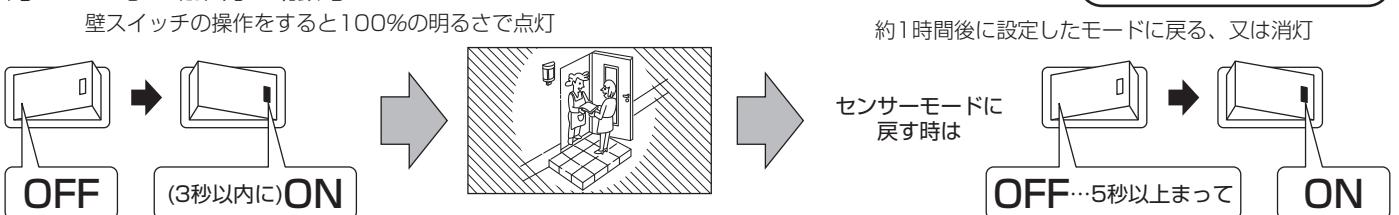
ほのかな明かり+人が来たときは明るく+夜中は省エネ → (8hタイマーモードの設定)へ



人が来たときだけ明るくしたい → (ON/OFFモードの設定)へ



好きな時に照明を点灯させたい → (強制ONモードの操作)へ

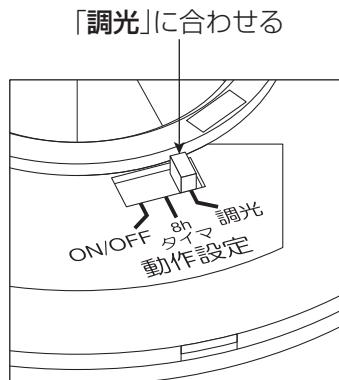


動作設定方法

（調光モードの設定）

「動作設定」のツマミを「調光」に合わせる。

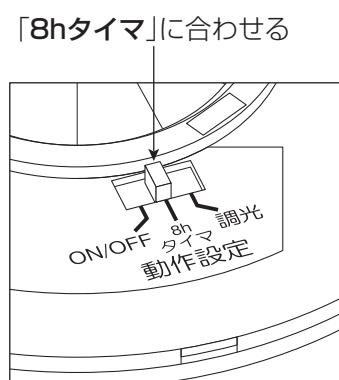
注) 「点灯照度設定」のツマミが「切」の場合、
周囲の明るさに関係なく調光モードの
動作になります。



（8hタイマーモードの設定）

「動作設定」のツマミを「8hタイマ」に合わせる。

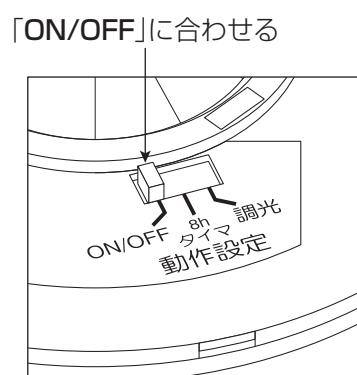
注) 「点灯照度設定」のツマミが「切」の場合、
周囲の明るさに関係なく始めの8時間は
調光モードの動作をし、その後ON/OFF
モードの動作になります。



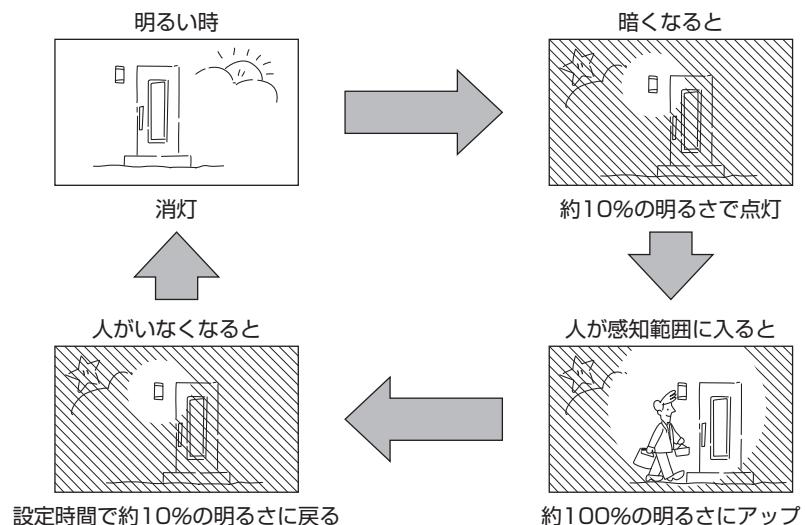
（ON/OFFモードの設定）

「動作設定」のツマミを「ON/OFF」に合わせる。

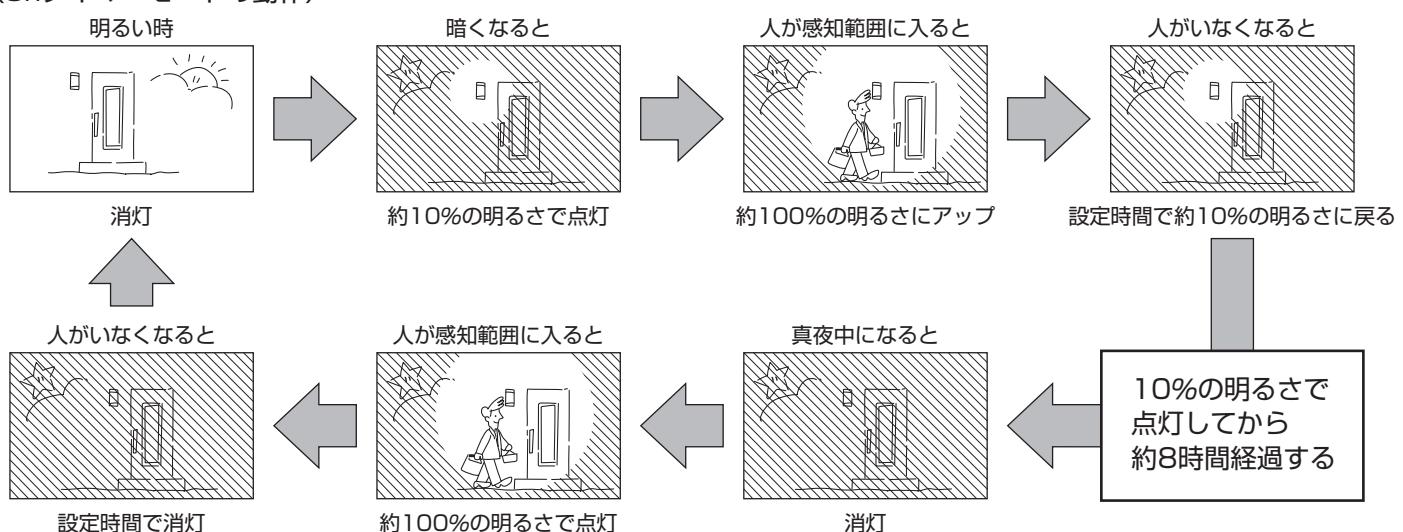
注) 「点灯照度設定」のツマミが「切」の場合、
周囲の明るさに関係なくON/OFFモード
の動作になります。



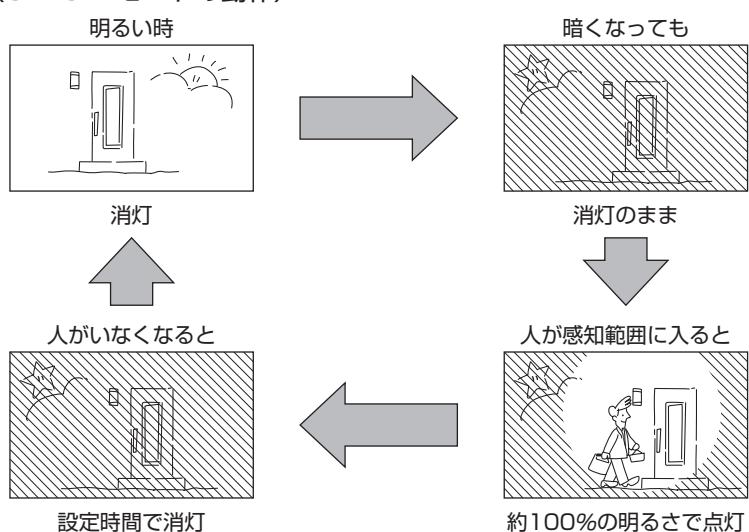
〈調光モードの動作〉



〈8hタイマーモードの動作〉



〈ON/OFFモードの動作〉



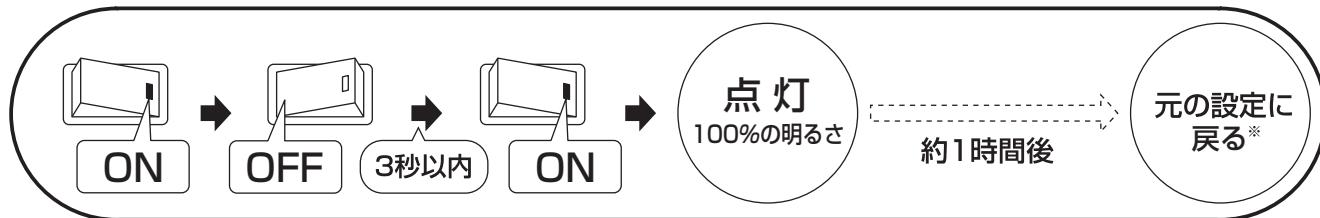
「強制ON」モード ランプを強制的に点灯させたいとき

人の有無や周囲の明るさに関係なく、ランプを強制的に点灯させることができます。

ランプを強制的に点灯させるとき (「強制ON」モードで使用するとき)

1 壁スイッチを「ON」にする。(すでに「ON」の場合はそのまま)

2 壁スイッチを「OFF」にし、3秒以内に「ON」にする。

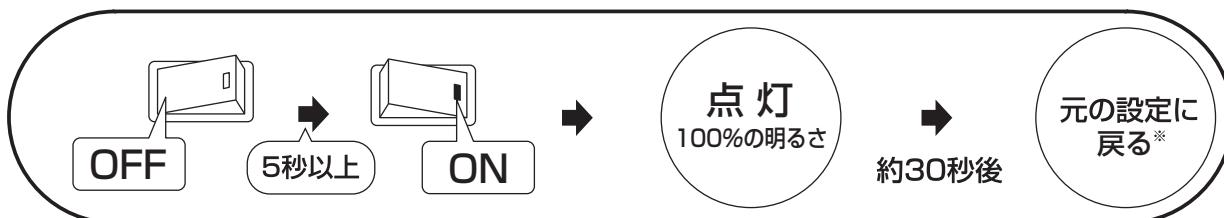


注) 上記壁スイッチ操作を行うと、周囲の明るさに関係なく約1時間連続点灯します。

元の設定に戻すとき (使用していた設定状態にすぐに戻したいとき)

1 壁スイッチを「OFF」にしてから5秒以上待つ。

2 壁スイッチを「ON」にする。



注) 上記壁スイッチ操作を行うと、周囲の明るさに関係なく壁スイッチを「ON」にした直後は約30秒間ランプが点灯し、その後、元の設定に戻ります。

※ 元の設定に戻ったとき、設定内容や周囲の明るさなどにより、ランプの点灯状態が異なります。
(設定内容により異なる)

修理を依頼される前に

●センサーの動作がおかしい時は下記を参考に点検を行ってください。

●処置をした後でも異常があるときは必ず壁スイッチを「OFF」にし、お買い上げの販売店、工事店、または照明器具の取扱説明書に記載の当社相談窓口までご連絡ください。

現象	考えられる原因	処置方法	
ランプが点灯したまま消灯しない	壁スイッチを「OFF」にして約3秒以内に「ON」にした。(「強制ONモード」)	「強制ONモード」になっています。壁スイッチを「OFF」にして5秒以上たってから「ON」にしてください。	
	「点灯時間設定」のツマミが「10分」になっている。	「点灯時間設定」のツマミを「10秒」、「1分」、「3分」にしてください。	
	明け方	「点灯照度設定」のツマミが「明」になっている。	朝、明るくなる頃までセンサーが動作する設定になっています。 「点灯照度設定」のツマミを「暗」にしてください。 (→「初めて使う時」をご参照ください。)
	明るいとき	照明器具の取付場所が薄暗い。 (昼間でも暗い時がある。) 昼間でも、曇り、雨などで周囲が暗くなった。 センサーの感知部を傘、手などで覆ってしまった。	「8hタイマーモード」でご使用の時は、昼間でも周囲が薄暗い時や曇り、雨などで周囲が暗くなった時は、まれにセンサーが夜と勘違いしてランプを10%点灯させることができます。壁スイッチを「OFF」にして5秒以上たってから「ON」にしてください。
感知範囲に人がいるのに点灯しない	「点灯照度設定」のツマミが「切」になっている。	「点灯照度設定」のツマミが「切」のときは周囲の明るさに関係なく、センサーが人を感知すればランプが点灯します。「点灯照度設定」のツマミを「暗」又は、「明」にしてください。	
	夕方	「点灯照度設定」のツマミが「暗」になっている。	暗くなりかけてからセンサーが動作する設定になっています。 「点灯照度設定」のツマミを「明」にしてください。 (→「初めて使う時」をご参照ください。)
	暗いとき	ランプが切れている。 ランプが緩んでいる。 壁スイッチが「OFF」になっている。 センサーの感知部に他の照明器具の光が当たっている。 センサーの感知部が汚れている。	新しいランプに交換する。 (→適合ランプは照明器具の取扱説明書又は、照明器具に貼付のランプシールをご参照ください。) ランプを締め直す。 (→照明器具の取扱説明書をご参照ください。) 壁スイッチを「ON」にする。 センサーの感知部に当たる光を遮断してください。 センサーの感知部の汚れを柔らかい布で拭き取ってください。

現象	考えられる原因	処置方法
感知範囲に人がいないのに点灯する	壁スイッチを「ON」にした直後。 又は、停電から復帰直後。	壁スイッチを「ON」にした時は、約30秒間100%点灯します。 その後、約30秒間のテストモード(人を感知すれば10秒間ON)ののち、設定されたセンサーモードになります。
感知範囲に人がいるのに消灯する	感知範囲内に人以外の熱源などがある。 例：自動車の熱やヘッドライト 近くの道路の通行人 犬や猫などの動物 風などでよく揺れるもの (洗濯物、旗、植木など) 他の照明器具 エアコンなどの吹出口からの風 強いノイズ(無線ノイズなど) 雨や雪、風など	熱源を取り除く、又は感知エリアを調整する。 感知範囲内に左記の例のようなものがあれば、周囲の温度変化を感じ、センサーが動作することがあります。故障ではありません。
感知範囲が狭い	感知範囲内で人が静止している。 雨の日に傘などで顔や手が隠れている。 マフラーで顔を覆ったり手袋をしていて肌の露出部分が少ない。 夏の暑い日などで周囲温度と人との温度差が少ない。 エリアマスクがついている。	静止している人は感知できません。 センサーは温度変化を感じるため、左記の場合は感知しにくくなることがあります。
点灯時間がおかしい	点灯時間が短い(約10秒で消灯) 点灯時間設定ツマミが「10秒」になっている。 点灯時間が長い(約10分で消灯) 点灯時間設定ツマミが「10分」になっている。	エリアマスクを外す。 点灯時間は「10秒」、「1分」、「3分」、「10分」から選択することができます。 (→「初めて使う時」をご参照ください)。

クリーニング方法

- 乾いた布で汚れを拭き取ってください。汚れが落ちにくい場合は、よく絞った布で拭き取り、最後に乾いた布で拭き取ってください。
- クリーニング後、動作を確認してください。以前と動作が違った場合、再度、設定してください。



直接、センサーに水をかけないでください。故障の原因となります。